

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2021.2.22-28

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

16:1 パリサイ人やサドカイ人たちがみそばに寄って来て、イエスをためそうとして、天からのしるしを見せてくださいと頼んだ。
 16:2 しかし、イエスは彼らに答えて言われた。「あなたがたは、夕方には、『夕焼けだから晴れる。』と言うし、
 16:3 朝には、『朝焼けでどんよりしているから、きょうは荒れ模様だ。』と言う。そんなによく、空模様の見分け方を知っていながら、なぜ時のしるしを見分けることができないのですか。
 16:4 悪い、姦淫の時代はしるしを求めています。しかし、ヨナのしるしのほかに、しるしは与えられません。」そう言って、イエスは彼らを残して去って行かれた。
 16:5 弟子たちは向こう岸に行ったが、パンを持って来るのを忘れた。
 16:6 イエスは彼らに言われた。「パリサイ人やサドカイ人たちのパン種には注意して気をつけなさい。」
 16:7 すると、彼らは、「これは私たちがパンを持って来なかったからだ。」と言って、議論を始めた。
 16:8 イエスはそれに気づいて言われた。「あなたがた、信仰の薄い人たち。パンがないからだなどと、なぜ論じ合っているのですか。
 16:9 まだわからないのですか。覚えていないのですか。五つのパンを五千人に分けてあげて、なお幾かご集めましたか。
 16:10 また、七つのパンを四千人に分けてあげて、なお幾かご集めましたか。
 16:11 わたしの言ったのは、パンのことなどではないことが、どうしてあなたがたには、

わからないのですか。ただ、パリサイ人やサドカイ人たちのパン種に気をつけることです。」
 16:12 彼らはようやく、イエスが気をつけよと言われたのは、パン種のことでなくて、パリサイ人やサドカイ人たちの教えのことであることを悟った。

パリサイ人は律法主義者、サドカイ人は復活を信じない現実主義者でした。彼らはイエス様にしるし、すなわち奇蹟を求めて、それが出来なければ批判しようとしたのです。
 イエス様は奇蹟を行う力がありましたが、あえてそれをしませんでした。人を驚かせて信じさせても、それは本当の信仰にはならないからです。「ヨナのしるし」、それはヨナが魚の中に飲み込まれたようにイエス様はよみに飲み込まれ、その後復活するということです。すなわち十字架と復活を信じるのがすべてであり、それ以外の奇蹟はさほど意味がないということです。
 十字架と復活こそが、神様の力であり奇蹟です。この大奇蹟を、もっと喜び驚き、そして褒め称えましょう。

- ①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）
- ②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）
- ③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）
- ④この世にあって何を実践しますか？



16:13 さて、ピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、イエスは弟子たちに尋ねて言われた。「人々は人の子をだれだと言っていますか。」

16:14 彼らは言った。「バプテスマのヨハネだと言う人もあり、エリヤだと言う人もあります。またほかの人たちはエリヤだとか、また預言者のひとりだとも言っています。」

16:15 イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

16:16 シモン・ペテロが答えて言った。「あなたは、生ける神の御子キリストです。」

16:17 するとイエスは、彼に答えて言われた。「バルヨナ・シモン。あなたは幸いです。このことをあなたに明らかに示したのは人間ではなく、天にいますわたしの父です。」

16:18 ではわたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。ハデスの門もそれには打ち勝てません。」

16:19 わたしは、あなたに天の御国のかぎを上げます。何でもあなたが地上でつなぐなら、それは天においてもつながれており、あなたが地上で解くなら、それは天においても解かれています。」

16:20 そのとき、イエスは、ご自分がキリストであることをだれにも言ってはならない、と弟子たちを戒められた。

16:21 その時から、イエス・キリストは、ご自分がエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえらなければならないことを弟子たちに示し始められた。

16:22 するとペテロは、イエスを引き寄せて、いさめ始めた。「主よ。神の御恵みがありますように。そんなことが、あなたに起こるはずはありません。」

16:23 しかし、イエスは振り向いて、ペテロに言われた。「下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするものだ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」

16:24 それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」

16:25 いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。」

16:26 人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありません。そのいのちを買い戻すには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう。」

16:27 人の子は父の栄光を帯びて、御使いたちとともに、やがて来ようとしているのです。その時には、おのおのその行ないに応じて報いをします。」

16:28 まことに、あなたがたに告げます。ここに立っている人々の中には、人の子が御国とともに来るのを見るまでは、決して死を味わわない人々がいます。」

救いは、他人の考えではなく、自分自身の信仰によります。自分自身で、イエスを「だれだ」と言うか、しっかりと確認しましょう。「この岩」とは、ペテロの信仰告白です。行動でも常に信仰を表しましょう。

救われた者は「天の御国のかぎ」を預かってい

ます。無駄にしないで、それを使いましょう。救いのためにその人に祈ってあげることが第一です。

主の救いのご計画のためにイエス様が「苦しみを受け」られたように、私たちも十字架を負う必要があります。そこにはすばらしい「報い」があるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



17:1 それから六日たって、イエスは、ペテロとヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に導いて行かれた。

17:2 そして彼らの目の前で、御姿が変わり、御顔は太陽のように輝き、御衣は光のように白くなった。

17:3 しかも、モーセとエリヤが現われてイエスと話し合っているではないか。

17:4 すると、ペテロが口出ししてイエスに言った。「先生。私たちがここにいることは、すばらしいことです。もし、およろしければ、私が、ここに三つの幕屋を造ります。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」

17:5 彼がまだ話している間に、見よ、光り輝く雲がその人々を包み、そして、雲の中から、「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞きなさい。」という声がした。

17:6 弟子たちは、この声を聞くと、ひれ伏して非常にこわがった。

17:7 すると、イエスが来られて、彼らに手を触れ、「起きなさい。こわがることはない。」と言われた。

17:8 それで、彼らが目を上げて見ると、だれもいなくて、ただイエスおひとりだけであった。

17:9 彼らが山を降りるとき、イエスは彼らに、「人の子が死人の中からよみがえるときまでは、いま見た幻をだれにも話してはならない。」と命じられた。

17:10 そこで、弟子たちは、イエスに尋ねて言った。「すると、律法学者たちが、まずエ

リヤが来るはずだと言っているのは、どうしてでしょうか。」

17:11 イエスは答えて言われた。「エリヤが来て、すべてのことを立て直すのです。」

17:12 しかし、わたしは言います。エリヤはもうすでに来たのです。ところが彼らはエリヤを認めようとせず、彼に対して好き勝手なことをしたのです。人の子もまた、彼らから同じように苦しめられようとしています。」

17:13 そのとき、弟子たちは、イエスがバプテスマのヨハネのことを言われたのだと気づいた。

イエス様はこれから成し遂げようとする救いのみわざについて、モーセおよびエリヤと話し合われました。モーセは律法の代表的人物であり、エリヤは預言の代表的人物です。どんな出来事であったのか、またどんな内容だったのかは具体的に書かれていませんが、イエス様が十字架で律法と預言とを完全に成就なさろうとしておられることは分ります。

イエス様は全人類の救いのために前進しておられましたが、ペテロはここに記念の「幕屋を造り」とどまろうとしました。これほどの神体験をした自分が誇らしくったとうのもあるでしょう。本当の神体験は、過去の証しに留まるのではなく、常に前進しておられる主とともに、自分も前進するものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



25日 木曜

マタイ

17:14 彼らが群衆のところに来たとき、ひとりの人がイエスのそば近くに来て、御前にひざまずいて言った。

17:15 「主よ。私の息子をあわれんでください。てんかんで、たいへん苦しんでおります。何度も何度も火の中に落ちたり、水の中に落ちたりいたします。」

17:16 そこで、その子をお弟子たちのところに連れて来たのですが、直すことができませんでした。」

17:17 イエスは答えて言われた。「ああ、不信仰な、曲がった今の世だ。いつまであなたがたといっしょにいななければならないのでしょうか。いつまであなたがたにがまんしていなければならないのでしょうか。その子をわたしのところに連れて来なさい。」

17:18 そして、イエスがその子をおしかりになると、悪霊は彼らから出て行き、その子はその時から直った。

17:19 そのとき、弟子たちはそっとイエスのもとに来て、言った。「なぜ、私たちには悪霊を追い出せなかったのですか。」

17:20 イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに告げます。もし、からし種ほどの信仰があったら、この山に、『ここからあそこに移れ。』と言えば移るのです。どんなことでも、あなたがたにできないことはありません。」

17:21 「ただし、この種のものは、祈りと断食によらなければ出て行きません。」

17:22 彼らがガリラヤに集まっていたとき、イエスは彼らに言われた。「人の子は、いまに人々の手に渡されます。」



17:23 そして彼らに殺されるが、三日目によりみがえります。」すると、彼らは非常に悲しんだ。

17:24 また、彼らがカペナウムに来たとき、宮の納入金を集める人たちが、ペテロのところに来て言った。「あなたがたの先生は、宮の納入金を納めないのですか。」

17:25 彼は「納めます。」と言って、家にはいると、先にイエスのほうからこう言い出された。「シモン。どう思いますか。世の王たちはだれから税や貢を取り立てますか。自分の子どもたちからですか、それともほかの人たちからですか。」

17:26 ペテロが「ほかの人たちからです。」と言うと、イエスは言われた。「では、子どもたちにはその義務がないのです。」

17:27 しかし、彼らにつまずきを与えないために、湖に行って釣りをして、最初に釣れた魚を取りなさい。その口をあけるとスタテル一枚が見つかるから、それを取って、わたしとあなたとの分として納めなさい。」

「信仰が薄い」のはいけないが、「からし種」のように小さいのは良いのでしょうか。「薄い」というのは、色々な言動の中で信仰の割合が少ないということでしょう。またからし種は小さくても命があります。この違いです。

立派とは言えないような小さな信仰でも、命ある主に向かって結びついて、命ある信仰となりましょう。それをしないで、あれやこれやと自分の経験や知識に頼って、信仰を薄めることのないようにしましょう。

また、私たちは神様の子ですから、神様から一方的に受ける資格もありますが、この世の人々のつまずきにならないために、義務を果たしましよ

う。納税も、また手続きも、また教会としての運営のためにも。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



18:1 そのとき、弟子たちがイエスのところに来て言った。「それでは、天の御国では、だれが一番偉いのでしょうか。」
18:2 そこで、イエスは小さい子どもを呼び寄せ、彼らの真中に立たせて、
18:3 言われた。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には、はいれません。
18:4 だから、この子どものように、自分を低くする者が、天の御国で一番偉い人です。
18:5 また、だれでも、このような子どものひとりを、わたしの名のゆえに受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。
18:6 しかし、わたしを信じるこの小さい者たちのひとりにでもつまずきを与えるような者は、大きい石臼を首にかけられて、湖の深みでおぼれ死んだほうがましです。
18:7 つまずきを与えるこの世は忌まわしいものです。つまずきが起ることは避けられないが、つまずきをもたらす者は忌まわしいものです。
18:8 もし、あなたの手か足の一つがあなたをつまづかせるなら、それを切って捨てなさい。片手片足でいのちにはいるほうが、両手両足そろっていて永遠の火に投げ入れられるよりは、あなたにとってよいことです。
18:9 また、もし、あなたの方の目が、あなたをつまづかせるなら、それをえぐり出して捨てなさい。片目でいのちにはいるほうが、両目そろっていて燃えるゲヘナに投げ入れられるよりは、あなたにとってよいことです。
18:10 あなたがたは、この小さい者たちを、

ひとりでも見下げたりしないように気をつけなさい。まことに、あなたがたに告げます。彼らの天の御使いたちは、天におられるわたしの父の御顔をいつも見ているからです。

18:11 [人の子は、滅んでいる者を救うために来たのです。]

神の価値観は永遠であり、揺るぎない確かなものです。その価値観がここで明かにされます。子どもは能力が弱っていますし、弱くまた分別のないものです。しかし、親を頼りきっています。また自分を大人のような偉大な者たとは思いません。同じように、天の父である神様に対して、信頼して頼りきり、謙遜に弱さを認めることが何よりも大切なのです。

ですから子どものように弱い小さい者は、神様から特別に愛されています。当時は子どもは尊重されませんでした。それは間違った価値観です。この大切な子どものように小さな者を、つまづかせることはならないのです。同じように自分自身をもつまづかせないように、その原因をとるものは「切って捨てる」必要があります。惜しく思えたり、慕わしく思えるものでも、自分全体がだめになるよりはいいのです。

小さな弱い者を大切に愛し、また小さな弱い自分を大切にしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



18:12 あなたがたはどう思いますか。もし、だれかが百匹の羊を持っていて、そのうちの一匹が迷い出たとしたら、その人は九十九匹を山に残して、迷った一匹を捜しに出かけないでしょうか。

18:13 そして、もし、いたとなれば、まことに、あなたがたに告げます。その人は迷わなかった九十九匹の羊以上にこの一匹を喜ぶのです。

18:14 このように、この小さい者たちのひとりが滅びることは、天にいますあなたがたの父のみこころではありません。

18:15 また、もし、あなたの兄弟が罪を犯したなら、行って、ふたりだけのところで責めなさい。もし聞き入れたら、あなたは兄弟を得たのです。

18:16 もし聞き入れないなら、ほかにひとりかふたりをいっしょに連れて行きなさい。ふたりか三人の証人の口によって、すべての事実が確認されるためです。

18:17 それでもなお、言うことを聞き入れようとしないなら、教会に告げなさい。教会の言うことさえも聞こうとしないなら、彼を異邦人が取税人のように扱いなさい。

18:18 まことに、あなたがたに告げます。何でもあなたがたが地上でつなぐなら、それは天においてもつながれており、あなたがたが地上で解くなら、それは天においても解かれているのです。

18:19 まことに、あなたがたにもう一度、告げます。もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心をつ一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかな

えてくださいます。

18:20 ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中からです。」

イエス様は救われていない人を、迷い出た羊のようにあわれみ、探してくださる愛のお方です。クリスチャンはこの九十九匹の羊に相当します。救われているということは囲いの中にあるように、主の守りの中にあるのです。ですから、まだ救われていない羊を求めてゆきましょう。

イエス様が滅びに向かう人々をどれほど愛しておられるかを、私たちも心に感じましょう。そして、その思いで伝道しましょう。またノンクリスチャンと交わりましょう。

罪を犯した人に対しては、このように天の権威とともに、愛の配慮を持って導きましょう。「教会の言うことさえも聞こうとしないなら、彼を異邦人が取税人のように扱いなさい。」というのは、きびしいように感じますが、それは他の人々の正しい価値観を守るためであり、またキリストの体である教会を守るためです。

また「異邦人が取税人のように扱う」には、一方的な愛が必要です。この点を忘れないようにしましょう。天国の鍵は愛によって回し、開けるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



18:21 そのとき、ペテロがみもとに来て言った。「主よ。兄弟が私に対して罪を犯したばあい、何度まで赦すべきでしょうか。七度まででしょうか。」

18:22 イエスは言われた。「七度まで、などとはわたしは言いません。七度を七十倍するまでと言います。」

18:23 このことから、天の御国は、地上の王にたとえることができます。王はそのしもべたちと清算をしたいと思った。

18:24 清算が始まると、まず一万タラントの借りのあるしもべが、王のところに連れて来られた。

18:25 しかし、彼は返済することができなかったので、その主人は彼に、自分も妻子も持ち物全部も売って返済するように命じた。

18:26 それで、このしもべは、主人の前にひれ伏して、『どうかご猶予ください。そうすれば全部お払いいたします。』と言った。

18:27 しもべの主人は、かわいそうに思って、彼を赦し、借金を免除してやった。

18:28 ところが、そのしもべは、出て行くと、同じしもべ仲間、彼から百デナリの借りのある者に出会った。彼はその人をつかまえ、首を絞めて、『借金を返せ。』と言った。

18:29 彼の仲間は、ひれ伏して、『もう少し待ってくれ。そうしたら返すから。』と言って頼んだ。

18:30 しかし彼は承知せず、連れて行って、借金を返すまで牢に投げ入れた。

18:31 彼の仲間たちは事の成り行きを見て、非常に悲しみ、行って、その一部始終を主人に話した。



18:32 そこで、主人は彼を呼びつけて言った。『悪いやつだ。おまえがあんなに頼んだからこそ借金全部を赦してやったのだ。』

18:33 私がおまえをあわれんでやったように、おまえも仲間をあわれんでやるべきではないか。』

18:34 こうして、主人は怒って、借金を全部返すまで、彼を獄吏に引き渡した。

18:35 あなたがたもそれぞれ、心から兄弟を赦さないなら、天のわたしの父も、あなたがたに、このようになさるのです。」

人はときどき、言葉によって信仰深さを表したり、また信仰深さをほめたりすることがあります。ペテロは質問しておきながら、自分で答えているところを見ると、この「七度まで」という信仰深さを表そうとしていたようです。

二回までとか、三回までなどと言っていた他の弟子たちは、ペテロの答えの信仰深さをほめたかもしれませんが。しかしイエス様は、完全数の七に対してさらに七倍してそれを10倍するという、驚く答えをなさいました。これは永遠に赦せということです。

その根拠は私たちが神様から赦されているからです。その負債は絶対に返せないものであったからです。ならば他の人の負債が、また悪がどんなに大きくても、赦さないで良いはずはないということです。

赦された自分であることを、もう一度思い起こしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

